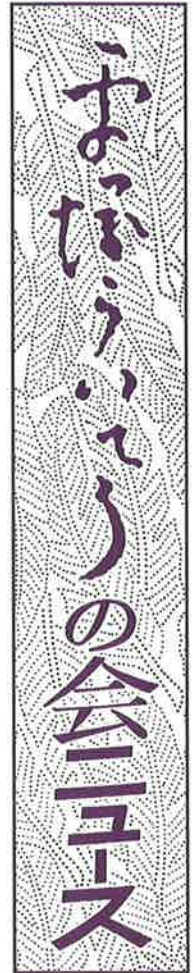


# 瀬戸内寂聴さん講演のつどい



平塚らいてうの記録映画をつくる会では、映画製作募金のために、七月二十七日、「瀬戸内寂聴さんによる講演のつどい」を開催。東京・文京シビック大ホールに千六百人が参加しました。

瀬戸内さんは「平塚らいてうとその時代」と題して、らいてうの生涯の中で、もっとも輝きのある好きな時代として、「青鞥」関係者を書き、「青鞥」でらいてうの青春を描いています。「青鞥」



て、らいてうの青春時代と「青鞥」発刊までを、大逆事件などの時代背景もまじえて縦横に語りました。



瀬戸内さんは『田村俊子』『かの子擦乱』『美は乱調にあり』などの伝記小説

で「青鞥」関係者を書き、「青鞥」でらいてうの青春を描いています。「青鞥」発刊の八か月前、明治四十四年一月に大逆事件で菅野須賀子が死刑になっており、青鞥社の結成は須賀子の弔い合戦かと思っただが、らいてうは大逆事件には全く反応なしで、ひたすら自我を追究して

いたとのべ、らいてうの個性、須賀子の生涯、「新しい女」たちの青春などを生きいきと語り、参加者を魅了しました。つづいて女優の藤村志保さんが、らいてうの手紙「独立するに就いて両親に」を朗読。羽田澄子監督と高野悦子岩波ホール総支配人もあいさつしました。

## 記録映画ができました

来年三月下旬からロードショー

記録映画「元始、女性は太陽であった」平塚らいてうの生涯（演出・羽田澄子）が完成、来年三月下旬から東京・岩波ホールでロードショーが始まります。特別鑑賞券千五百円（三月二十三日から六月七日まで有効）を当会で扱っています。上映時間二時間二十分。語り・喜多道枝。



# らいてうの生き方をめぐって

対談 瀬戸内寂聴さん 山田洋次さん

「瀬戸内寂聴さんによる講演のつどい」の後半には映画監督の山田洋次さんも登壇。夫人のよし恵さんがらいてう研



究者で、記録映画をつくる会に最初からかかわっているため、「瀬戸内さんには、あなたも出なさいよといわれて、おそろいここにすわっています」とあいさつ。爆笑と拍手のなか、瀬戸内さんと共に参加者の質問に答える形で対談しました。「らいてうについては、本や写真で接するだけで、よく知らなかったのですが、瀬戸内さんのお話を聞いて、らいてうが人間として立ち上がってきたような気がしました」という山田さんに、さすが瀬戸内さんが「山田さんは男性として、らいてうという女性をどう思いますか」と質問。「ぼくなんかさしづめ、らいてうに翻弄される禅のお坊さん（中原秀岳）のようなもので、道をあやまるのが関の山でしょう」に、また爆笑。藤村さんの朗読した「独立するに就いて両親に」は、らいてうが奥村博史と共同生活をするために家を出る時、両親に宛てて自分の考えをのべた私信ですが、「青鞥」に掲載、発表されました。瀬戸内さんはこれを「らいてうの生き方の真骨頂を示すもの」と高く評価。封建的で女性に不利な当時の婚姻制度に抵抗し、法律を無視して婚姻届を出さない結婚をあえて公表して同性を励まし、「野合」「不道德」という世間の非難を恐れなかつたと称賛。「山田さん、らいてうの劇映画を作ってくださいませんか。らいてうはだれに演じてもらおうか。五分の子どもと三分の女と二分の男」といわれた博史役はだれに、大杉栄は、神近市子はなんて考えるのは楽しいじゃありませんか。ねえ皆さん」に大きな拍手。瀬戸内さんは山田作品の大ファンで「寅さん」のビデオを全巻そろえているとのこと。

宛てて自分の考えをのべた私信ですが、「青鞥」に掲載、発表されました。瀬戸内さんはこれを「らいてうの生き方の真骨頂を示すもの」と高く評価。封建的で女性に不利な当時の婚姻制度に抵抗し、法律を無視して婚姻届を出さない結婚をあえて公表して同性を励まし、「野合」「不道德」という世間の非難を恐れなかつたと称賛。「山田さん、らいてうの劇映画を作ってくださいませんか。らいてうはだれに演じてもらおうか。五分の子どもと三分の女と二分の男」といわれた博史役はだれに、大杉栄は、神近市子はなんて考えるのは楽しいじゃありませんか。ねえ皆さん」に大きな拍手。瀬戸内さんは山田作品の大ファンで「寅さん」のビデオを全巻そろえているとのこと。

その情熱が私たちの心を打つのです。今は壁などないように見えますが、私たちは見えないものを見る能力を失っているように思います。本当の自由は、与えられるのを待つのではなく、みずからかちとるものではないかと瀬戸内さん。

また「人間は何のために生きるのかと中学生の甥にたずねられて答えられなかった。瀬戸内さんはどう思われますか」との問いには、ズバリ「自分以外のだれかを幸せにするために生きます」と答え、山田さんは「それを考えるために人の一生がある、と思ってもいいのではないのでしょうか。人生には、ごせつもあるが、ああ生きていてよかったと思う瞬間が何度かある。それだけでも人生は生きるに価すると思います」と答えました。

さらに、らいてうのように自分の考えをしつかり持ち、自分で判断して行動した結果は自分で責任をとるのが自立した人間の生き方。戦争中のようにだまされるのも判断力のなさや無知のせい、責任の半分は真実を見抜けなかった自分にもある、などと話し合われました。瀬戸内さんは最後に、二日後の参議院

議員選挙にふれて「私はもう不在者投票をすませてきました。青鞥の時代は女に選挙権もなかった。国の主権者としての自覚と責任をしっかりと持って、自分の一票を大切に」と結ばれました。

## らいてう研究会編

### 『青鞥』人物事典

——一〇人の群像——

## 本の紹介

『青鞥』にかかわった「新しい女」とは、どんな女性たちだったのか。彼女たちのその後の人生は——。その関心に応えてくれる本です。青鞥社員、賛助員、何らかの形で『青鞥』にかかわった女性たちは約二百人と推測され、その中から消息のわかった女性八十八人と、その周辺の生田長江ら男性十三人、青鞥の人々に影響を与えたエレン・ケイら外国の思想家など九人の評伝が本書の中心。総論として『青鞥』の時代や人々、研究のあゆみも含め



た解説「歴史の水脈となった人々」（折井美耶子）が理解を助けてくれます。大逆事件、新真婦人会、母性保護論争など、当時の用語解説も添えられており、ゆきとどいた労作です。

（大修館書店刊 本体三千円）

## 総会のお知らせ

NPO法人の認証後、初の総会を十一月十日（土）に開催します。正会員の皆様は万障おくりあわせの上、ご出席下さいますようお願いいたします。

### 【総会日程】

日時 11月10日（土）1時30分～4時予定  
会場 東医健保会館（JR信濃町下車7分）  
議題 定款の確認、次年度の事業計画と予算、役員を選出、その他



## シリーズ

## らいてうの周辺

硬派論客の素顔

## 上野 葉子

「会の半にらいてうの煙草入紛失事件がもち上って総立ちになった。印度更紗の煙草入で其裏には色々のことが隠れているのだとからいてうにとっては命よりそれは大切なものなのだ。皆して捜したが不思議にも見当らない。だんだんらいてうの顔色が蒼くなつて来たので気の毒になつたと見えて上野さんはどうと懐から出して仕舞つた」（原文のママ）と「青鞥」の「編集室より」にある。

これは福井から佐世保へ移住した上野葉子が、夫とともに上京した折に青鞥社を訪ね、初めてらいてうたち社員と会つた時のことである。硬派の論客で通る葉子から、ましてや初対面では、こんな茶目っ気はちよつと想像し難い。しかし、あのらいてう独特の人物評を読むとうなづける。

「その日事務所に現れた上野さんは、輪郭のはつき

りした美しい顔だちの、颯爽たる人でした。着物の着付けなどもきりつと短めで、やはりどこかに師範出らしいかたさはもつていますが、いかにも明るく軽快、才気煥発というふうで、じつによく話されました」と『自伝』に記されている。

「青鞥」発刊時には福井高女の教職にあつて、創刊号を見て「打てばびびくように」入社した葉子。やはり特異な存在であつたと思われる。

「上野葉子氏が又寄付をされたとらいてうからきいた」とも「編集室より」にある。風当たりの強くなつた「青鞥」やらいてうたちの苦労を遠隔の地から思いやつていた葉子。初対面のらいてうたちとすぐに打ち解けた葉子は、「青鞥」を文学、哲学、宗教、教育など広く思想界にわたる内容にしていきたいなどと、思いのたけを素顔で語り合つたのだろう。すぐれた論文を「青鞥」に次々と発表した葉子だったが、健康に恵まれず四十二歳で早逝した。

ところで、若いらいてうの煙草入れに隠されていたこととは何だつたのだろう。（らいてう研究会 南川よし子）

## 講談「平塚らいてう伝」

十月三日、東京・国立演芸場で、第二十回「講談かぶら矢会」が開かれ、宝井琴梅、一龍斎貞山師ら五人と共に宝井琴桜さんが出演、「青鞥」誕生—平塚らいてう伝」でトリをつとめました。「青鞥」発刊九十周年を記念して、全編では九時間以上かかる創作講談を「青鞥」の誕生中心に三十分の抜き読みにとりまとめ、米國テロ事件などにもふれて語りました。

## 〔事務局メモ〕

7月12日 ニュースNo.33發送

18日 記録映画をつくる実行委員会に出席

27日 記録映画製作募金「瀬戸内寂聴さんによる講演のつどい」開催

28日 らいてうの会元幹事・林光さん逝去

8月2日 林光さんのお別れ会に出席

25日 日本母親大会（於・滋賀・草津）分

科会当日「母親運動の歩みとらいてう」展示・解説・折井美耶子副会長。らいてうの会の宣伝も行なう

9月6日 記録映画完成 実行委員の試写

14日 記録映画をつくる実行委員会に出席

19日 第10回理事会開催